

- 鷺森別院で2年ぶり帰敬式□1
- 仏教いろは問答□2
- 新・祖蹟点描□3
- 青色青光、過疎問題とお寺□4
- 鷺森別院で報恩講勤まる□6
- 行事予定、響流十方□7
- つれもて聴こら□8



『肥後国を所因念』に描かれた江戸時代後期の鷺森別院

2022年(令和4年)
1月1日
第130号

発行:「御同朋の社会をめざす運動」和歌山教区委員会 〒640-8053 和歌山市鷺森1番地 本願寺鷺森別院内 ℡(073)422-4677 URL http://saginomori.or.jp/

法名授かり、門徒の自覚新た

26人が帰敬式受ける

鷺森別院報恩講が御満座を迎えた11月28日、鷺森別院では2年ぶりとなる「帰敬式」が本堂で行われた。帰敬式とは、ご本尊・阿弥陀さまの前で「仏法僧」、



「門主お手代わりの導師からおかみそりを頂く(鷺森別院本堂)」

つまり仏さま・仏法・仏法を頂いて生きる仲間(教団)に帰依して生きることを誓い、浄土真宗の門徒としての自覚を新たにする儀式。儀式を受けることによつて、仏弟子としての名前である「法名」を授かる。帰敬式には教区内寺院の門徒26人が参加。合掌した



代表者が「法名」を拝受

升巴新教務所長、小宅新職員が着任

12月1日付人事で、2020年(令和2)4月1日から1年8カ月和歌山教区教務所長・鷺森別院輪番・日高別院輪番を務めた廣澤敬典師が西本願寺(聞法会館部長)へ転任。後任として升巴信隆師(52歳、大分教区国東中組長泉寺衆徒)



升巴信隆新教務所長

が築地本願寺から着任した。升巴新教務所長は、「このたび和歌山教区教務所長・鷺森別院輪番・日高別院輪番を拝命いたしました。頂いた職務の重責を受け止めつつ、前進してまいりたいと思います。鷺森別院・日高別院の発展および和歌山



小宅 裕新職員

受式者は、専ら門主のお手代わりで出向した導師・廣瀬久晴師(本願寺侍真)が「南無帰依仏」「南無帰依

法」「南無帰依僧」と唱えるのに続いて、一句ずつ復唱。受式者の名前が披露されたのち、仏法僧に帰依するという意味で、廣瀬導師から一人ずつ頭に三度おかみそりを頂いた。

続いて、代表者が法名を拝受、別の代表者が「帰敬文」を読み上げ、真宗門徒としての決意表明。最後に導師のお言葉を受けた。⑥面に受式者の感想、⑧面に帰敬式後の法話要旨

教区で寺院の活性化に向けて精進してまいりますので、どうぞご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます」と、あいさつ。同日付人事で、小宅裕師(30歳、兵庫教区神戸湊組浄榮寺衆徒)が新職員として着任。「神戸市出身で、西本願寺に7年2カ月奉職していました。元気と笑顔が取りえです。趣味は全国各地の歴史に触れながら旅をすること。和歌山教区の魅力を全国にお伝えできればと思っております。よろしくお願ひ申しあげます」。

若葉と純真の

仏教いろは問答

3

▽テストの点数から「比較」について考える



若センセ純真



若葉

高校1年生の若葉は、数日前の定期考査の答案が返ってきたのを受け取り、思わず声を上げた。「えーっ、うっそお」。その日の帰り道、うつむき加減で歩く若葉を見掛けた純真は声を掛けた。

純真 若葉さん、こんにちは。

若葉 あっ、お坊さん…こんにちは…はあ…。

純真 元気がないようだけれど、どうかしたの？

若葉 実はテストで赤点取っちゃったんです。補習も受けなくちゃいけないんですよ。もっしょっくで…。

純真 ああ、それはつらいね。でも、頑張っても結果が出ないこともあるよ。

若葉 そうなんです、結構

構頭張ったのになあ…。なんでテストなんてあるんだろう。別に点数なんて出さなくたっていいのに。

純真 うーん、ぼくは先生じゃないから実際のところは何とも言えないけど…でも、自分がどれくらいできてるのかを知るには役に立つんじゃないかな。

若葉 それなら丸を付けてくれるだけでいいんですよ。点数を付けたら、他の子と比べられちゃうじゃないですか。それがいやなんですよね、できないって思われるし。

純真 人のことは関係なく、自分の能力を伸ばすための試験だと思えないかな。

若葉 確かにそうですけど、そんな冷静に受け止め

られません。家に帰ったらお母さんに怒られるし。

純真 ごめんごめん。でも、もしテストの点数が高かったら、若葉さんはこんなことを考えなかったんじゃないかな。

若葉 …ああそうか。言われてみたら、点数がいいときは何も考えず喜んじゃってました。それを見ていやな気持ちになってる人もいたかもしれないですね。

純真 うん、うん。

若葉 でも、どうしても自分と周りの人を比べて、落ち込んだりうんですよね。テストだけじゃなくって運動でもそうだし、見た目でもそうだし。お坊さんは比べたらないんですか？

純真 いや、ぼくもやっ



イラスト=いぶりん

ぱり比べてしまっよ。あの人がみたくに社交的だったらとか、話が上手だったらとか。比べないなんて、それこそ仏さまでもないかぎり無理じゃないかな。

若葉 仏さまってお釈迦さまのことですか。仏さまは比べたりしないの？

純真 お釈迦さまがこの世に誕生されたとき、七歩歩かれてから天と地を指さ

して、「天上天下唯我独尊」と言われたという逸話があるんだけど、知ってる？

若葉 初めて聞きました。

純真 うん。お釈迦さまが「ただ我ひとり尊し」と言われたと聞くと傲慢な言葉のように感じるけど、これはご自分が他人と比較して尊いとか特別だとか言われたんじゃないと思うんだ。表現が難しいんだけど、だ

れもが他人とは比較できない固有の価値のようなものを持つている。それこそが本当に尊いもので、そのことに気付くべきだと言われたいんじゃないかと思うんだ。ぼくたちはいろんな物差しで自分と他人を比較して一喜一憂したりするけど、共通の物差しで何でも測れると思うのは錯覚じゃないかな。本当に大切なものは他人とは比較できないんじゃないかと思うんだけど。

だから、仏さまから見たら若葉さんも…。

若葉 じゃあ、勉強も頑張らなくていいのかな。

純真 いやいや、ちょっと待って。ぼくも学校の勉強は好きじゃなかったけど、長い目で見れば自分の可能性を広げることにもつながるわけだし…。

若葉 冗談ですよ。でもお坊さんと話せて少し気が楽になりました。またいろいろ教えてください。

純真 ええ、いつでも。応援してますよ。

(本紙・辻本真一朗大須賀拓善)

新 祖蹟点描

32 六角堂⑥



六角堂の境内に立つ「親鸞堂」には「夢想の像」と「草鞋の御影」が安置されている

なぜ六角堂を選ばれたのか

人であるとも考えられていたということである。

親鸞聖人が聖徳太子を「和国の教主」（日本のお釈迦さま）と呼んで特別ともいえる尊崇の念を捧げておられたことは、本連載第26回で触れた。

そこから考えれば、親鸞聖人は比叡山で堂僧としての職務をこなしつつ学問と行にいそまれた末、恵信尼公の言葉によれば「後世」の問題に進退窮まり、仏教

の開祖であるお釈迦さまの人へのこの問題を問い尋ねられるような気持ちを持つて、参籠という形で聖徳太子のおほしめしを仰ごうとされた、という見立てができるように思われる。

本来の仏教者の姿ではないか。聖徳太子に喚起されたそんな思いと共に、比叡山の僧という生き方とは別の可能性が親鸞聖人の心のなかに浮上りつつあったと言えは言い過ぎだろうか。

のちに見るように、親鸞聖人の「夢告」体験が聖徳太子の存在を抜きにしては考えられないことから、このときすでに親鸞聖人が聖徳太子に特別な思いを抱いておられたことが、参籠の場所として六角堂を選ばれた要因ではなかったかと想像されるのである。

六角堂がこの夢殿をモデルにしたのかどうか定かではないが、夢殿における聖徳太子の夢見の場所というモチーフが、聖徳太子は観音菩薩の化身であるとの信仰を介し、六角堂における聖徳太子が夢告を授ける場所というモチーフへと転換されているかに見えるのは、非常に興味深いものがある。

親鸞聖人の六角堂参籠に關して問題にされている2つ目の点は、参籠の形式である。つまり、こもりきりでの参籠だったのか、それとも比叡山から通われたのかという点である。

恵信尼公のお手紙によれば、親鸞聖人は六角堂に百日を期して参籠されたというが、百日とはやはり異例の長期間であろう。

仮にそのような施設があったとしても、親鸞聖人が比叡山に所属する僧だったことを考えると、百日も比叡山を留守にしてはさすがに職務に差し支えるのではな

いかと心配にもなるわけである。斎戒沐浴と休憩のため

必要なら、百日ではなおさらである。はたして六角堂にもそのような施設があったのだろうか。

イメージは通いの参籠へと傾きそうになる。この問題には次回再び触れたいが、その前に今回は親鸞聖人がなぜ参籠の場所として六角堂を選ばれたのかを考えておきたい。

八角円堂ともいう法隆寺夢殿。六角堂の形はこのお堂をモデルにしたのだろうか



して言えば、親鸞聖人が引き付けられたのは、在家の身でありながら仏道を体現された聖徳太子のお姿ではなかったか。

市井のただなかにあつて仏道を追求することこそが『古代人と夢』（平凡社ライブラリー）、五来重『西国巡礼の寺』（角川ソフィア文庫）（本紙編集部）

【参考文献】西郷信綱

鷺森別院で報恩講勤まる

新型コロナ
対応も2年目



北本一紀師
(通夜布教1席目)



岩崎法明師
(法要1日目)



山本顕生師
(通夜布教2席目)



菅原吉人師
(法要2日目)



藤俊乗師
(通夜布教3席目)



山本行圓師
(法要3日目)



藤田眞雄師
(法要5日目)



中田周敬師
(法要4日目)

講師8人が法話のリレー

浄土真宗を開かれた親鸞聖人の祥月命日を縁として、親鸞聖人のご遺徳を讃え、ご恩に感謝する「報恩講」が、11月24日から28日までの5日間(1日1座)、鷺森別院で厳かに勤められた。新型コロナウイルスの感染リスクを考慮して、参拝者と出勤僧侶の人数を制限しての報恩講も2年目。

親鸞聖人のご遺徳讃えお勤め (11月26日)



日替わりで、岩崎法明師(日高組蓮専寺住職)、菅原吉人師(和歌山北組浄源寺住職)、山本顕生師(和歌山一紀師)、山本行圓師(和歌山北組浄源寺住職)、山本行圓師(伊那組蓮乗寺住職)、中田周敬師(加茂組徳應寺住職)、藤田眞雄師(日高組西教寺住職)が、出講して法話。

27日午後6時40分からの通夜布教では、北本一紀師(和歌山北組浄源寺住職)、山本顕生師(和歌山北組浄水寺衆徒)、藤俊乗師(紀南組善福寺住職)が約40分ずつ話した。

子ども作品展に104点の応募
教区少年連盟は11月24日から12月11日の18日間、第24回子ども作品展を鷺森別院本堂で開催した。



教務所長から辞令を受け取る

責任役員・総代に本堂で辞令伝達
3日目の11月26日、門徒総代参拝奨励日に合わせて責任役員辞令・門徒総代登録証伝達式が午前11時30分から本堂で行われた。
2021年(令和3)4月から9月末日までに願記申請し、就任した44力寺196人の責任役員・門徒総代の方々のうち、出席した10力寺の代表者に、廣澤敬典教務所長(当時)から辞令と記念品が手渡された。

(1面に関連記事)
代表で法名を拝受した平岡香代美さん(海南組了賢寺門徒) 私はお寺の仏教婦人会の会長、夫は総代補佐を務めさせていただいていることもあり、2人で受式しました。式に臨んでの身の引き締まるような感じと皆さまの前で法名を拝受したときの緊張、どちらも忘れ難い経験になりました。毎日お仏壇の前で正信偈をお勤めしていますが、もっと口からお念仏が出るようになっていければと改めて感じました。今後は「釋至行」という法名に恥じぬよう、仏婦活動も頑張っていかなくてはと思っています。

帰敬式受け、喜びの感想

「帰敬文」を読み上げた竹中一誠さん(有田北組浄満寺門徒) 住職から貴重な機会だからと勧められて、妻と一緒に受式しました。式は想像していたよりもほかに厳肅な雰囲気でも驚きました。式を終え、今後に向けての決意なのか、言葉で言い表せないような変化が心なかで起こっていて不思議な感じです。帰敬文の拝読は、2、3日前から何度も練習したかいてあってスムーズに読めて良かったです。頂いた「釋証悟」という法名については、住職に由来を聞いてみようと思っています。

院本堂で開催した。この作品展には、教区内児童・生徒94人から、書道77点、絵画11点、塗り絵16点の合計104点の応募があった。入賞者は次の通り。
■書道の部 ▽本願寺鷺森別院賞 ▽湯浅咲・吉川侑希 ▽輪番賞 ▽石田慈・北谷萌香 ▽少年連盟特別賞 ▽伊藤優美・橋爪彩羽・上田夢・石田心路。
■絵画の部 ▽本願寺鷺森別院賞 ▽保田葉月 ▽輪番賞 ▽望月なみ ▽少年連盟特別賞 ▽宮所陽日。
■塗り絵の部 ▽本願寺鷺森別院賞 ▽西川愛葉 ▽輪番賞 ▽南咲雪 ▽少年連盟特別賞 ▽板原顕真。

Zoomの使い方学ぼう

ズーム

1月26日に寺族女性研修会



実際にパソコンを使いリハーサルを行う加藤会長(中央)と森嶋講師(左)

和歌山教区寺族女性会(加藤諭絵会長)では1月26日、オンライン会議システムZoomの使い方を学ぶ研修会を鷺森別院本堂で開催する。新型コロナウイルスの影響で講師を迎えて聞く。

敬 弔

鷺山賀代子(和歌山組西慶寺・前坊守) 9月24日
眞田 昭(紀南組浄行寺・前任職) 10月9日
神谷和子(紀南組勝徳寺・前坊守) 10月21日
荻野はつき(海南組浄國寺・前坊守) 11月5日
生前のご活躍で尽力に感謝申しあげ、謹んで敬弔の意を表します。

鷺森別院の催し

■元旦会 1月1日、午前7時から本堂で正信念仏偈行譜をお勤めし、升巴信隆輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会 3月21日、春季彼岸会をお勤めする。午後1時30分から本堂で仏説阿弥陀経をお勤め、引き続き法話を聴聞する。
■常例法座 1月15、16

日、中川紫月師(大和高田市野口・浄善寺)。2月15日、廣瀬信彰師(近江八幡市安土町・永照寺)。3月15日、藤田朋之師(近江市新宮町・教勝寺)。いずれも午後1時30分からお勤め、引き続き午後3時ごろまで法話を聴聞する。

第18回孫市まつり 3月27日、孫市の会が主催する「第18回孫市まつり」が、鷺森別院と周辺を会場に開催される。
※変更する場合があります。(本願寺鷺森別院 和歌山市鷺森1番地 電話073-422-4677)

日高別院の催し

■元旦会 1月1日、午後1時30分から新年最初の法話を聴聞。例年と同じお勤めである元旦会を本堂で。正信念仏偈行譜をお勤め後、菅原吉人副輪番が年頭あいさつ。

■春季彼岸会・御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要 3月18日午後1時から春季彼岸会を勤修する。本堂で仏説阿弥陀経をお勤めし、2時15分まで升巴信隆輪番の法話を聴聞。例年と同じく「御坊市日高郡戦傷病没者追悼法要」を併修する。
■常例法座 1月18日午後1時から本堂で正信念仏偈行譜をお勤めし、引き続き午後2時15分まで中川紫月師の法話を聴聞する。
※詳細は左記まで。
(本願寺日高別院 御坊市御坊100番地 電話0738-22-0518)

響流十方

1~3月の催し

本山

1月1日 元旦会・修正会
1月8日 大御身(祖像の御身拭拭式)
1月9日、16日 御正忌報恩講法要
2月7日 如月忌(九條武子さまご命日)
2月7日 住職補任研修
2月8日 住職補任式
2月15、16日 宗祖月忌法要
3月12日 本山成人式

和歌山教区

1月18日 近畿同朋運動推進協議会「寺院女性研修会」(八幡別院)
1月26日 寺族女性会研修会(鷺森別院)
2月2日 布教団連続法座「仏説無量寿経に聞く」(鷺森別院) ※リモート
2月12日 仏教青年連盟ホドゲーム会(鷺森別院)
2月17日 第43回西本願寺

教区内各組

和歌山組 1月30日 キッズサンガ(鷺森別院)
和歌山西組 1月中旬 組内会(光源寺)
2月中旬 組内会(光源寺)
3月中旬 組内会(光源寺)
有田南組 1月中旬 組内会及び組内

住職寺族研修会(善照寺)
日高組 2月7日 組報編集委員会(善宗寺)
2月19日 第3回組内会(未定)
3月上旬 実践運動推進委員会(未定)
3月上旬 組会計監査(未定)

3月26日 組会(未定)
御坊組 3月上旬 組会(日高別院)

紀南組 1月18日 親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要団体参拝会議(浄行寺)
2月中旬 紀南開教布教(専光寺)
※新型コロナウイルスの影響により変更する場合があります。詳細は各組事務所へ。

つれもて 聴こら

帰敬式を受けられて、係りの方から「おめでとーございませう」と声を掛けられたと思います。皆さま、今日は人生の何度目の出発点でしょうか。

まず一度目は、この世にお生まれになったときです。ご記憶にないと思いますが、「よく生まれてきてくれたねえ」と祝福されてお生まれになった。これが第一の出発点だったと思います。そしてこのたび帰敬式を

帰敬式の際、本堂の明かりを落としておかみそりを

受けられました。どうして明かりを落としたのかご存じですか。これは親鸞聖人

藤田眞雄

がお得度というお坊さんになる儀式を受けられたのが夜だったからです。

親鸞聖人のお得度に倣い、実際には髪は剃りませんが、仏法僧に帰依するという意

「帰敬文」の通り、「浄土真宗のみ教えをいたたく者として自覚をあらたに」されたわけです。

皆さまのお名前には意味があるはず。ご自分の名前の意味を聞かれた方も多々と思います。聞いたことのない方も、字の意味を

「帰敬文」の通り、「浄土真宗のみ教えをいたたく者として自覚をあらたに」されたわけです。

皆さまも門徒式章を頂かれますが、しまっておくのではなく、お寺に参られるときはもちろん、平生からお仏壇のお給仕をさせていただくときもお勤めさせていただきます。きちんと身に着けてください。



お念仏申しつつ、喜びの人生を

終えられて、法名という新たな名前を頂かれた。これこそが人生で二度目の出発点となるのです。

味で頭におかみそりを3度当てていたとき、お坊さんになる儀式と同じ形の儀式を受けられました。そして

調べれば、ご両親がどんな願いを持って名前を付けられたのか想像できます。今日皆さまも法名を頂か

うちのお寺で長らく仏教婦人会の会長を務めてくださった坂田秀子さんという方がおられました。今年七

帰敬式は人生2度目の出発点

この方は毎朝お寺の朝のお勤めに来られておられました。おうちに帰られると、お仏壇の前でも朝のお勤めをされ、また夕方にもお勤めをしておられました。そんなときにずっと門徒式章を掛けておられたんです。

阿弥陀さまに出遇わされていたので、親鸞さまが示してくださったお念仏の教えに出遇わされていた。私の人生の行く末は確かなものであったんだとお聞かせを頂きながら、喜びを持ってこの生涯を送らせていただくのが、浄土真宗の門徒の人生であります。

(日高郡由良町・西教寺) 11月28日の鷲森別院帰敬式後の法話から